

社会科目の暗記

① 何回も反復練習をして暗記する

→〇周もしたのに覚えられませんと言ってくる生徒がいるが、覚えるまで数をこなしてないだけです。

人によって暗記までの時間は異なります。何周でも何百周こなす。英語に飽きたから日本史の一問一答やるでもいいからとにかく1日で数をこなす。

② 書いて覚えようとしな

→①とつながることだが、書いて覚えるより見て覚えるほうが時間が短いことは明白である。その上で何十周もすれば覚えられよう。(難読漢字は書いても良い)

③ 自分なりの覚え方を作る

→文字列のまま覚えるのはコストがかかりすぎる。下品だろうがこじつけだろうが、受験までしか使わないのでとにかく省エネで覚えることを優先する。

④ 資料問題を確実に取る

→全文覚える必要はないが、資料から年代や出来事を即座に分かるようにする。

→過去問に出てきた資料を日本史の一問一答資料編(東進)にチェックしていく。どの資料が自分の志望校から出やすいのかを把握する。

⑤ 法則を見つける

→過去問研究が一番有効活用できる教科である。

but 志望学部だけでなく、志望校全学部を研究する。すると2年おき法則や5年おき法則が見つかるはず。どの範囲が今年のこの大学ではどこが出やすいかを判断できれば万々歳。あくまでも学校単位であり、学部単位で判断することは難しい。過去問研究なんてそんなもん。(実は問題を使いまわしている学校がある。Ex,所沢体育大学、日本レディ大学はマジで同じ設問文で出していた。)

⑥ 暗記科目はスピード勝負

→過去問には解く+答え合わせ=1時間で十分である。 $+ \alpha$ で過去問研究時間を作るが、それでも最大2時間以上を1つの過去問に費やすのはナンセンス。